

	年		組		番				
--	---	--	---	--	---	--	--	--	--

**教材 6 - A - (1) 近世の社会の様子**

次の(ア)～(ク)の説明はどの時代のものであるかを、【表】の中から選び、番号で答えなさい。

**【表】**

江戸(1603～1867)					
安土・ 桃山 (1573～ 1603)	家康～	享保の改革 (徳川吉宗)	寛政の改革 (松平定信)	天保の改革 (水野忠邦)	幕末(ペリ の来航以降)
	家光 (1603～ 1651)	(1716～ 1745)	(1787～ 1793)	(1841～ 1843)	(1853～ 1867)

**【社会の様子】**

- (ア) 武士と百姓・町人に大きく分かれ、江戸や各地の城下町には武士と町人が集められるようになった。
- (イ) パン、カステラ、カルタ、時計などが日本にもたらされ、宣教師たちによって天文学や医学、航海術などの新しい技術も伝わった。
- (ウ) 大商人や地主の中には、工場をつくり、人をやとって分業で製品をつくるしくみであるマニファクチュア(工場制手工業)を行うものが現れた。
- (エ) 当初キリスト教の宣教師は優遇されていたが、長崎がイエズス会に寄進されていたことで領土的野心をうたがわれ、宣教師は国外追放を命じられた。
- (オ) 大名を親藩、譜代大名、外様大名にわけ、藩を取りつづいたり領地がえを行うなどして大名の配置を工夫し始めた。
- (カ) 幕府は江戸の日本橋に始まる五街道の整備に努め、街道には宿場を、箱根などの要所には関所をおいた。
- (キ) 改宗したキリスト教徒やその親類を監視するとともに、キリスト教徒を監視するために踏み絵を行い始めた。
- (ク) 全国で「世直し」を期待して農民による一揆がおこり、「ええじゃないか」といって人々が熱狂するさわぎが各地で流行した。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)